

「びわ湖源流の郷たかしま戦略」は、市の財産である豊かな自然を守り、持続可能な活用を通して、地域産業の振興と市民生活の活性化を図り、次の世代に継承していくことに重きを置いています。この戦略を推進するにあたり、県内一の広大な市域を3つのエリア

答 市民環境部長

「びわ湖源流の郷たかしま戦略」は、市長の政策のキーワードとして位置付けられています。高島市がびわ湖源流の郷として、各種施策を推進するにあたっての方向性を示すものであると認識しています。この戦略を行政の施策推進のためだけでなく、市民とともに高島市を元気にするための戦略として、広く市民に啓発普及に努め、みんなで高島市を元気にしていこうとする意識の醸成が大切であると考えます。そのためにも、私はこの戦略の目指すもの、そして、戦略を推進するにあたり、今後、広く市民に周知啓発を図り、行政と市民との協働による展開が必要ではないかと思えます。市当局の考えはどうか。

びわ湖源流の郷たかしま戦略
「期待すること」



「里山・里住・里湖」イメージ図

「里山」奥山までを含む上流部全体を指し、源流の郷の源となるエリア
「里住」農地、河川、水路、市街地などが一体となって、人々の生活の中心となるエリア
「里湖」びわ湖や湖岸を中心とした水辺空間を指すエリア

三 里
「里山・里住・里湖」

当市の独自性を発揮しながら、単に生物多様性を保全するだけでなく、近畿の水瓶である「びわ湖源流の郷」としての誇りを感じながら、「水を養い・水と暮らし・水でつながる高島」をコンセプト(概念)に、高島市が元気になり、市民が安心して生活できる「暮らし」や「連携・交流」の3つの視点を重視した取り組みを進めることとしています。この戦略が目指す目標像について、広く市民に周知し参加を頂く中で、みんなで高島市を元気にしていこうとする協働の意識の醸成に努めていきたいと考えます。

平成24年度 当初予算の概要

住みたいまち
びわ湖源流の郷たかしま の実現を目指して

1 安心・安心な暮らしづくり

- ・原子力防災対策事業……………1千470万4千円
- ・防災拠点施設整備事業……………3億3千637万9千円

2 高島の人づくり、地域づくり

- ・みんなで創るまちづくり事業…1億4千735万7千円
- ・私立保育園施設整備事業補助……………3千780万円
- ・私立幼稚園施設整備事業補助…4億3千239万9千円 (ふじなみ幼稚園)
- ・介護老人保健施設整備事業……………3億1千400万円

3 三里を活かした環境、産業づくり

- ・地域特産品振興事業……………2千471万9千円
- ・小水力発電推進事業……………233万円

- ・びわ湖源流の森活性化事業……………2千943万4千円
- ・高島地域材流通促進事業……………4千31万4千円 (グラッブル)
- ・地場産業振興事業……………1千257万円
- ・企業活動支援事業……………6千75万5千円
- ・住まい手支援事業……………3千400万円

4 暮らしと産業を支える基盤づくり

- ・公共交通対策事業……………2億2千557万9千円
- ・雪寒対策事業……………1億5千828万7千円 (除雪ローダー)
- ・庄境川河川改修事業……………1千890万円



ふじなみ保育園



グラッブル



除雪ローダー

市民サービスと
市民との協働について

行政の市民サービスは、市民の視点に立った課題の発見により職員の日々の業務への改善の取り組み市民との協働による意識改革が必要である。行政と市民との協働、そして常に職員が行政と地域との仲立ちを積極的に進めていくことが大切なことであると思いい、次の4点について伺います。

問 現在、各種徴収金について「コンビニ収納」がなされているが収納効果はどのような現状かまた、より一層の市民サービスを図るため土、日、祭日に各種証明書の発行が考えられないものか。

答 市民環境部長

コンビニ収納は10月末現在で18,000件の利用があり当初見込みを大きく上回る事が予測されます。土、日、祝日の窓口閉庁については、方法や経緯等からの考察を行いながら、調査・研究します。

問 市民サポートハウスの利用状況は。

答 年間200件を超える安定した利用があります。



問 みんなで創るまちづくり交付金の区自治会の評価は。

答 一部で事務手続きの簡略化を要望される声はありますが、約7割強の区自治会に肯定的に評価いただいています。

学校等防災教育について

児童、生徒が安心して学べる教育環境の整備として防災教育のあり方はどうか、次の点について伺います。

問 児童、生徒が臨機応変に避難行動がとれる取り組みは。

答 教育部長

様々な場合を想定し、どのような行動をとるべきか自ら考え、判断し、実践できる力を育てるよう防災教育や訓練を実施しています。

問 災害時の児童、生徒の引き渡しの取り決めは。

答 家庭は引渡しカードに記入し、学校は内容を確認し確実に引き渡せるようになっています。



引渡しカード (サンプル)

問 地域住民と学校の地域防災訓練は。

答 11月に実施した防災訓練では、今津東小で地域住民の参加を得て、避難所の開設・運営訓練を行いました。



問 保育園、幼稚園の防災計画は。

答 子ども局長

現行の防災計画を見直し、実情に即した統一的で実効性のある内容になるよう策定作業を進めてまいります。

平成23年度 3月補正予算の概要

- ・今津東小学校大規模改造事業……………1億4千170万5千円
- ・減債基金積立金……………2億8千720万円
- ・退職手当組合特別負担金……………8千5万円



今津東小学校

～平成24年6月 定例会日程のお知らせ～

6月4日(月)から6月26日(火)まで開催されます どうぞ傍聴にお越しください

- | | | |
|------|------------------|-------------------|
| 主な日程 | ・6月4日(月)6月定例会開会 | ・6月18日(月)一般質問 個人 |
| | ・6月14日(木)一般質問 個人 | ・6月26日(火)6月定例会最終日 |
| | ・6月15日(金)一般質問 個人 | |